

# 経営比較分析表（平成28年度決算）

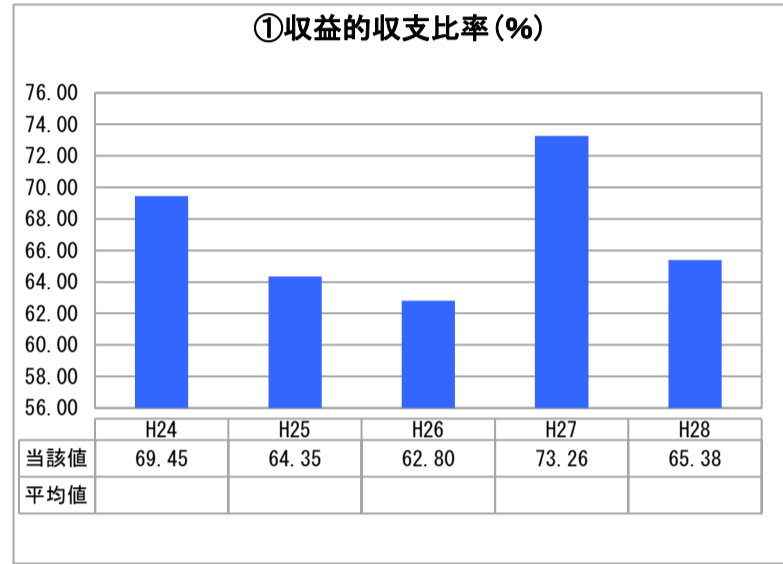
福岡県 大刀洗町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	10.55	100.00	3,465

人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
15,618	22.84	683.80
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
1,641	0.82	2,001.22

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【	平成28年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



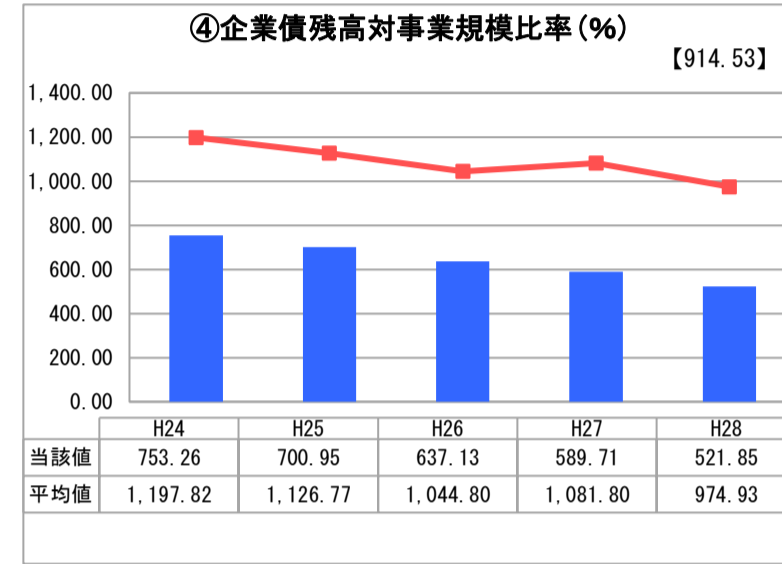
「単年度の収支」



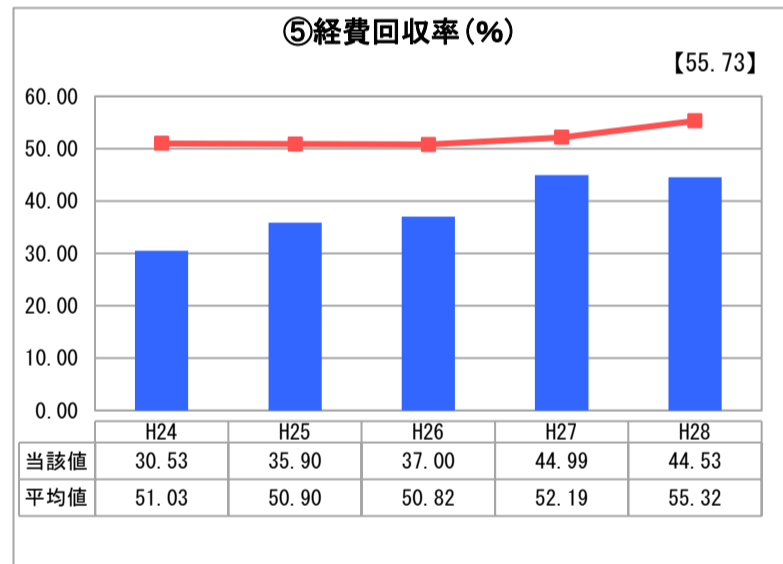
「累積欠損」



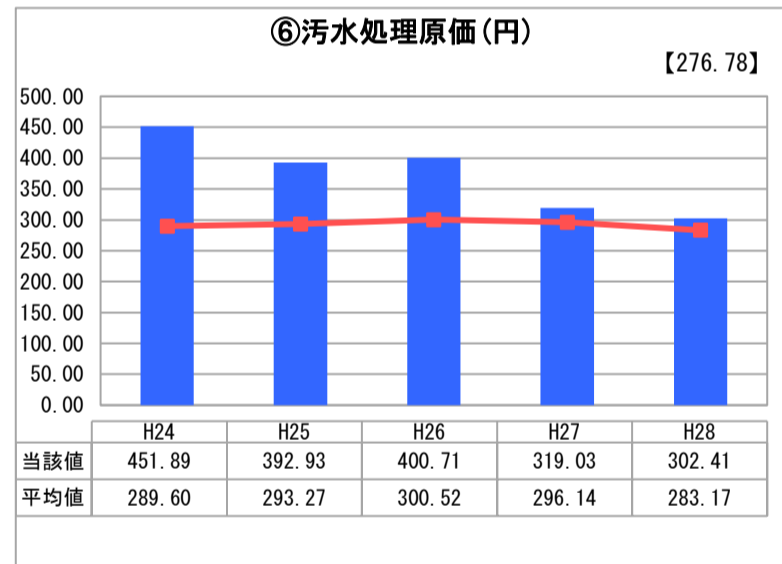
「支払能力」



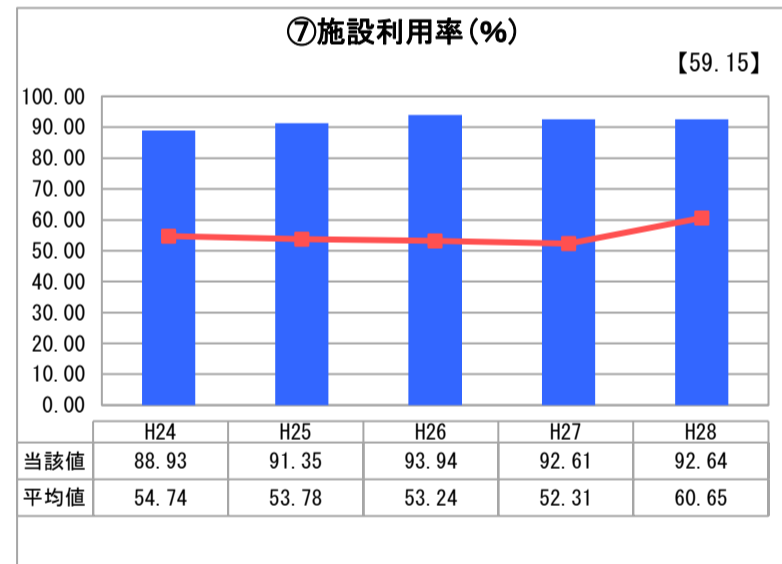
「債務残高」



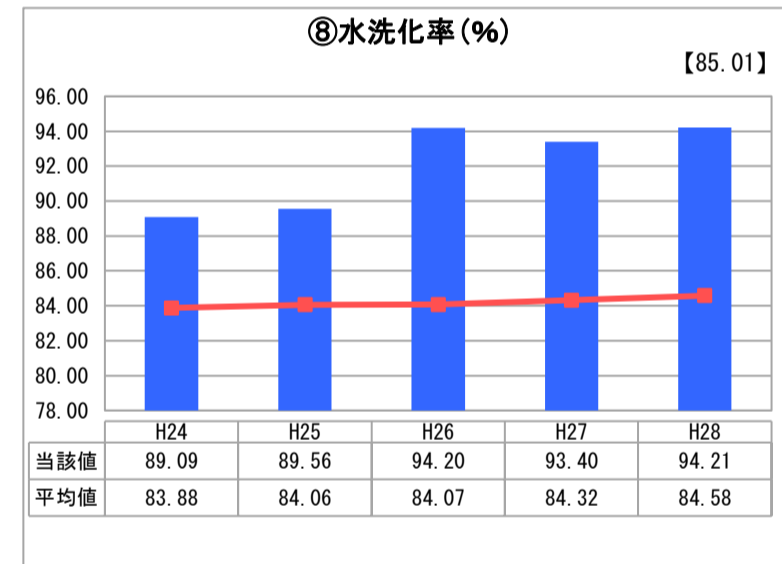
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

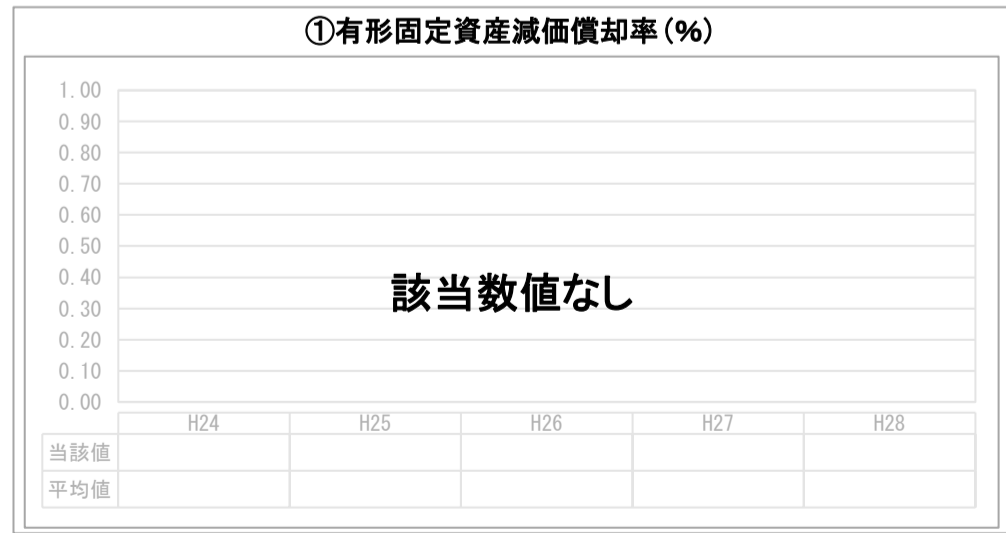


「施設の効率性」



「使用料対象の捕捉」

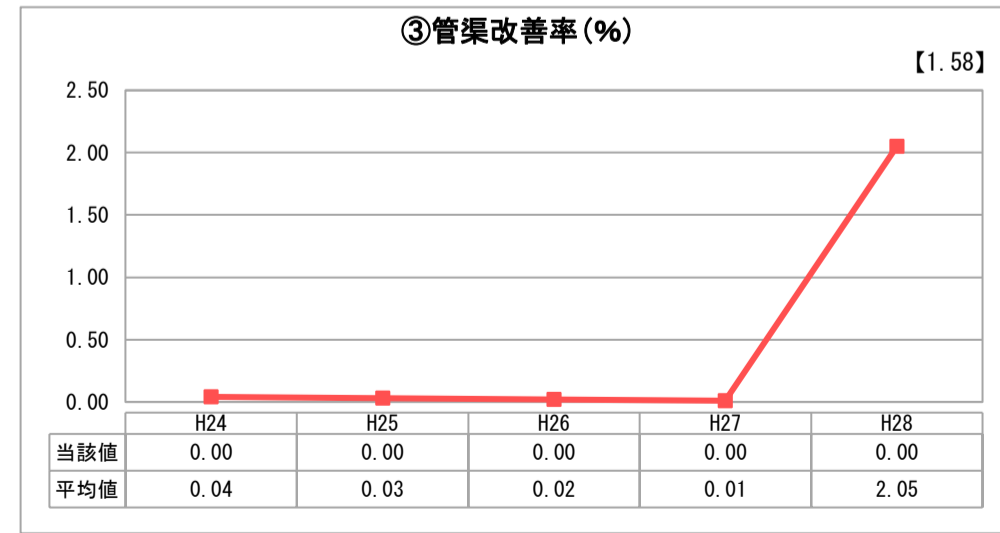
## 2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

・経営の健全性  
 使用料で回収すべき経費を、どの程度使用料で賄えているかを示す経費回収率は、類似団体の平均値を下回っていて、有収水量1m<sup>3</sup>あたりの汚水処理に要した費用を示す汚水処理原価は、類似団体の平均値を上回っています。類似団体より経営の健全性が悪いことを示します。  
 収益的収支比率は平成27年度に災害復旧事業の共済金収入があったため、一時的に増加しております。平成28年度は一時的な収入はありませんでしたが、料金収入増額となり地方債償還金支払利息が減額したため、収益的収支比率は増加傾向にあります。  
 また、企業債残高の規模を示す企業債残高対事業規模比率は、類似団体の平均値を下回っています。類似団体より企業債残高が少ないことを示していますが、今後老朽化による更新に伴う新たな借入を行うことも考えられます。

・経営の効率性  
 施設の利用状況や適正規模を示す施設利用率および、実際に水洗便所を設置して汚水処理をしている人口の割合を示す水洗化率は、どちらも類似団体の平均値を上回っています。これは類似団体より水洗化が進み、施設が遊休状態ではないことを示しています。

### 2. 老朽化の状況について

供用開始後約20年が経過しましたが、管渠の老朽化に伴う更新などは行っていません。今後は管渠だけでなく、マンホール蓋や2箇所の処理場施設も含めて老朽化に伴う更新を検討していきます。

### 全体総括

平成28年度までに水洗化の促進による経営の効率化や人件費などの経費削減を図り、経営の健全化に努めてきました。  
 現在の経営状況は近年より良い状況となっておりますが、今後は管渠のみでなく、マンホール蓋や処理施設の老朽化による更新費用の増加が見込まれることから、今後も料金の見直しや経営の効率化、更新費用の平準化を検討していきます。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。

※ 平成24年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。